

令和8(2026)年度 九州大学公開講座 一覧

*未定の情報については決定次第、随時更新します。
*各講座の詳細については、【問合せ先】に記載の連絡先までお問合せください。※メールアドレスの「★」は「@」に変えてご連絡いただきますようお願いいたします。

■比較社会文化研究院

講座名[対象]	受講料	開催日時	講座内容	開催形式・定員	会場（対面）	申込方法	申込期間	問い合わせ先
未来へつなぐ武雄のため池	無料	11月中旬・下旬	九州大学大学院比較社会文化研究院では、水とヒト，生物が持続的に共生する社会を実現するための研究に取り組んでいます。これらの研究の格好の対象が”ため池”です。私たちは武雄市において市民の皆さんの協力のもと、武雄市のため池を対象に研究を進めてきました。研究の成果から、ため池は農業用の水需要を満たすのみならず、地域の社会や生物多様性とも深くつながっていることが明らかになってきました。一方で、気候変動に伴う豪雨の激甚化・頻発化や少子高齢化の進展はため池の維持管理を困難にしており、そのような自然・社会環境変化のなかで私たちはどのようにため池を扱っていくかが大きな問題になっています。本講座では武雄市において進めてきた研究結果について紹介するとともに、受講者のみなさんと一緒にため池をとりまく問題を考えることで、ため池や地域の未来について考えていくことを目的とします。	対面：50名程度	佐賀県武雄市役所	メール Web	/ - /	九州大学大学院比較社会文化研究院 水共生学事務室 [TEL] 092-802-5620
[一般・高校生]		13：00 - 16：20		オンライン：-				

■理学研究院

更新日：2026年4月24日

講座名[対象]	受講料	開催日時	講座内容	開催形式・定員	会場（対面）	申込方法	申込期間	問い合わせ先
第25回 九州大学 理学部生物学科 公開講座	無料	8 / 7	一般市民及び高校生を対象として、生物科学部門での研究成果を分かりやすく紹介・解説する。これにより、基礎生物学の重要性と面白さを、広く一般社会に理解してもらう。また高校生に対しては、理学部がどのような学部であるかについても説明し、進路決定の一助となるようにする。	対面：20名	ウエスト1号館理学部講義棟202	Web	7 / 1 ~ 8 / 6	九州大学大学院理学研究院生物科学部門 [TEL] 092-802-4269 [E-mail] rixbio★jimu.kyushu-u.ac.jp
[一般・在学生・教職員・専門職・高校生・小/中学生]		13：30 ~ 16：00		オンライン：200名				
体験入学・公開講座	無料	3月下旬予定	物理学の最先端の研究を平易に解説し、高等学校1，2年生と高等専門学校3・4年生にその魅力を知ってもらう。	対面：約55名	九州大学伊都キャンパス ウエスト1号館	Web	1月中旬～2月下旬（予定）	九州大学理学部等事務部 物理学部門事務室 [TEL] 092-802-4101
[高校生・その他（高等専門学校3・4年生）]		10：00 ~ 14：45		オンライン：約65名				
講座名[対象]	受講料	開催日時	講座内容	開催形式・定員	会場（対面）	申込方法	申込期間	問い合わせ先
地球惑星科学科・高校生1日体験入学	無料	8 / 2	高校生に地球惑星科学科の授業（講義・実験）を体験してもらい、大学における教育の紹介および学科の理解とアウトリーチ活動を行う。	対面：40名	九州大学伊都キャンパスウエスト1号館	Web	6 / 1 ~ 6 / 29	九州大学理学部地球惑星科学部門事務室 [TEL] 092-802-4209 [E-mail] geo-jimu1f★geo.kyushu-u.ac.jp
[高校生]		10：00 ~ 17：00		オンライン：-				

■数理学研究院

講座名[対象]	受講料	開催日時	講座内容	開催形式・定員	会場（対面）	申込方法	申込期間	問い合わせ先
現代数学入門	無料	8/6～ 8/7	高校生を含む市民の皆様楽しい数学の心をお伝えするため標記の講座を開講いたします。	対面：90名	IMIオーディトリウム（ウエスト1号館D棟4階）	Web	6 / 1 ~ 7 / 24	九州大学 数理学研究院 [TEL] 092-802-4498 [E-mail] ext-course★jimu.kyushu-u.ac.jp
[一般・在学生・教職員・専門職・高校生]		10：30 ~ 15：30		オンライン：500名				

■工学研究院・システム情報学研究院

講座名[対象]	受講料	開催日時	講座内容	開催形式・定員	会場（対面）	申込方法	申込期間	問い合わせ先
プチ天体観望会	無料	4 / 5 ～ 3 / 21	星空に目を向けよう！九州大学では、二十四節気（1太陽年を日数あるいは太陽の黄道上の視位置によって24等分し、その分割点を含む日に季節を表す名称を付したもの）にあわせてプチ天体観望会を開催し、一般に公開しています。	対面：なし	九州大学伊都地区 ペガサス天体観測室	申込不要		九州大学工学研究院 花田 [TEL] 092-802-3047 [E-mail] hanada.toshiya.293★m.kyushu-u.ac.jp
[一般・在学生・教職員・専門職・高校生・小/中学生]				オンライン：－				
海底資源の最前線	無料	8 / 1 ～ 8 / 1	脱炭素社会の実現に向けてのさまざまな取り組みが行われているが、例えば電気自動車の生産のための高性能マグネットやバッテリーの開発など、新しい技術開発のためには、いわゆるレアメタルが必要不可欠であり、レアメタル資源の探査、開発のための研究が附属環境工学研究教育センターにおいても行われています。本講座では、「海底資源の最前線」をテーマに、海底熱水活動によって形成される鉱物資源の成り立ちと、その形成に関わる最新の研究成果を紹介します。前半では、石橋純一郎教授が、海底熱水系における元素の移動や濃集のしくみを地球化学の観点から解説します。海水と岩石の反応によって生じる熱水が、どのようにして銅や亜鉛、金などの金属元素を運搬し、海底に鉱床を形成するのかを紹介するとともに、海底鉱物資源研究の最新動向についてお話しします。後半では、小山恵史助教が、これまで主に無機的な過程によって形成されると考えられてきた海底熱水鉱床に対し、微生物がその形成や元素の濃集に関与している可能性について解説します。近年の分析技術の進展によって明らかになりつつある微生物と金属元素との相互作用や、鉱物形成を促進するメカニズムを紹介し、地球と生命の関わりを探索最前線の研究成果をお伝えします。 海底資源の形成を支える地球化学的プロセスと生命活動のつながりを通して、深海で進行するダイナミックな現象の魅力に迫ります。	対面：約30名	工学研究院附属環境工学研究教育センター（CE40）	メール	6月22日～7月31日	九州大学附属環境工学研究教育センター 担当：馬場 [E-mail] office@creet.kyushu-u.ac.jp
[一般・在学生・教職員・高校生・小/中学生]		10 : 00 ～ 12 : 00		オンライン：－				
中学生の科学実験教室2026	無料	8/8	魅力ある科学教育・地域社会の発展に積極的に貢献するために、九州大学大学院システム情報科学研究院では、さまざまな活動を実施しています。その一つとして、中学生を対象とした科学実験教室を平成7年から毎年開催しています。参加者の皆さんにコンピュータとエレクトロニクスなどの科学技術への興味を持って頂けるよう、色々な面白い実験や実習を用意しています。	対面：約100名	総合学習プラザおよびウエスト2号館（伊都キャンパス）	Web	6月下旬～7月下旬（予定）	九州大学システム情報科学研究院（担当：堅） [E-mail] saigo★inf.kyushu-u.ac.jp
[中学生]		10 : 00 ～ 16 : 30		オンライン：－				
ダイナミックな島に生きる 水辺の生き物の姿－対馬と北海道 ～科学の目で見る、水辺の生き物たち～	無料	8 / 29 ～ 8 / 29	九州大学大学院工学研究院附属環境工学研究教育センターでは、学内外の環境に関わる教育活動・啓発活動を積極的に行い、専門家や研究者だけでなく一般市民も参画可能な研究教育活動を推進する事を目標に活動し、学術普及のため定期的に公開講座を開催しています。 今回の公開講座では、魚類生態学・保全生態学を専門とする北海道大学の荒木仁志教授をお招きし、『ダイナミックな島に生きる水辺の生き物の姿－対馬と北海道～科学の目で見る、水辺の生き物たち』と題し、北海道や対馬の河川で実施された環境DNA調査の成果を基に、流域における生物多様性の特徴やその成り立ち、人と自然のかかわりについてご講演をいただきます。	対面：80名	対馬市教育委員会 豊玉地区公民館	電話 Web	8月6日～8月29日	九州大学工学研究院 環境社会部門 生態工学研究室／九州大学うみつなぎ [TEL] 092-802-3437 [E-mail] info★umitsunagi.jp
[一般・在学生・教職員・専門職・高校生・小/中学生]		10 : 00 ～ 12 : 00		オンライン：－				
九州大学大学院機械工学部門公開講座 「エネルギーを支える水と燃料の科学」	無料	11/14	エネルギー問題は、私たちの日常の快適さ、家計、そして将来の生活様式に直結する非常に身近なテーマです。機械工学は、エネルギーを作る・運ぶ・使う・保つことを支える学問であり、地球規模のエネルギー問題を解決に導く役割を担っています。本公開講座では、水一滴の持つ分子レベルの不思議から、自動車を動かす燃料液滴の燃焼メカニズム、そして未来の水素エネルギー（水電解・燃料電池）への応用など、機械工学の中で扱われている様々なエネルギーを支える基礎科学やその応用に関する研究の最前線を、3名の講師がわかりやすく解説します。	対面：50名	JR博多シティ9階中会議室 1	Web	7月21日～11月10日	九州大学機械工学部門事務室 [TEL] 092-802-3258 [E-mail] k-jimu★mech.kyushu-u.ac.jp
[一般・高校生]		13 : 35 ～ 15 : 35		オンライン：－				

■芸術工学研究院

講座名[対象]	受講料	開催日時	講座内容	開催形式・定員	会場（対面）	申込方法	申込期間	問い合わせ先
アクティブライフのための運動教室（春・夏期）	5000円	4 / 9 ～ 7 / 23	高齢期をアクティブに過ごすための術（メソッド）を実践する教室。身体運動を通して心身の向上を図るとともに、科学技術社会における高齢期を充実して過ごすための生活のアイデアを紹介する。	対面：25名	九州大学大橋キャンパス デザインコモン2階	メール 電話 ハガキ Web	未定	九州大学芸術工学部学務課教務係 [TEL] 092-553-4460 [E-mail] gkgextension★jimu.kyushu-u.ac.jp
[一般]	(全8回)	10 : 40 ～ 11 : 40		オンライン：－				
高校生のためのフィルム写真の撮影と現像	5000円	7 / 25 ～ 7 / 26	多くの技術は生活などを便利にするものである。しかし、便利さや効率のために、使われなくなる技術や忘れ去られる文化も一方ではある。フィルム写真技術もそのひとつである。そこで、本公開講座では、画像表現メディアのひとつである白黒フィルム写真を取り上げ、デジタルカメラしか扱ったことがないであろう高校生を対象に、その技術を撮影、現像、そして観賞までを実習を通して体験してもらい、フィルム写真に関する知識・技術を習得する。 ＊フィルムカメラ、フィルム、現像液など、必要物品は当方で用意します。	対面：8名	九州大学大橋キャンパス 2号館 2階 共同視聴覧展示スペース、画像特殊実験棟 1階 大暗室	メール Web	未定	九州大学芸術工学部学務課教務係 [TEL] 092-553-4460 [E-mail] gkgextension★jimu.kyushu-u.ac.jp
[高校生]	(全2回)	10 : 30 ～ 16 : 30		オンライン：－				
高校生のための環境設計公開講座	1000円	8/2	高校生を対象に、環境設計の世界に興味を持ってもらうことを目的としています。環境設計コースの教育・研究内容を知ってもらうことも意図して、内容は講座と体験ワークショップで構成し、与えられた課題に対し、材料を用いた立体構成、もしくはスケッチを行い、参加者全員でディスカッションを行います。	対面：25名	九州大学大橋キャンパス 2号館 2階製図室	メール	未定	九州大学芸術工学部学務課教務係 [TEL] 092-553-4460 [E-mail] gkgextension★jimu.kyushu-u.ac.jp
[高校生]		14 : 00 ～ 17 : 00		オンライン：－				
高校生のための最先端メディアデザインワークショップ	無料	8月中旬～下旬	高校生を対象に、最新のメディアデザインについて演習を交えながら体験的に学習することを目的とする。具体的にはメディア表現、メディアインタラクション、メディアコミュニケーション学に関するグループワークを中心とした講座を提供する。	対面：20名	九州大学大橋キャンパス	メール Web	未定	九州大学芸術工学部学務課教務係 [TEL] 092-553-4460 [E-mail] gkgextension★jimu.kyushu-u.ac.jp
[高校生]		9 : 30 ～ 16 : 30		オンライン：－				
アクティブライフのための運動教室（秋・冬期）	5000円	10 / 未定～ 1 /	高齢期をアクティブに過ごすための術（メソッド）を実践する教室。身体運動を通して心身の向上を図るとともに、科学技術社会における高齢期を充実して過ごすための生活のアイデアを紹介する。	対面：25名	九州大学大橋キャンパス デザインコモン2階	メール 電話 ハガキ Web	未定	九州大学芸術工学部学務課教務係 [TEL] 092-553-4460 [E-mail] gkgextension★jimu.kyushu-u.ac.jp
[一般]				オンライン：－				
高校生のための音の実験	5000円	未定	高校生を対象に、音の科学に関する興味と理解を深めてもらうために、実験を主とした講座を開設する。具体的には、午前中の入門講義で、基礎的な事項を学習した後、午後に実験を体験する。実験は3つのテーマを体験する。	対面：15名	九州大学大橋キャンパス	メール Web	未定	九州大学芸術工学部学務課教務係 [TEL] 092-553-4460 [E-mail] gkgextension★jimu.kyushu-u.ac.jp
[高校生]				オンライン：－				

■農学研究院

講座名[対象]	受講料	開催日時	講座内容	開催形式・定員	会場（対面）	申込方法	申込期間	問い合わせ先
アグリコラボいとしま 講演会『糸島でみつける、農業体験～あなたの暮らしの中に農業を～』	無料	5 / 16 － 5 / 16	糸島の海・山・川に囲まれた豊かな自然を舞台に、地域で行われている多様な農業体験の魅力や、実際の体験から得られる“リアルな学び”を紹介します。あわせて、農業体験を実施する団体同士の情報交換の場としても開催します。	対面：80名	糸島市役所 1階 庁舎市民ホール	Web	4 / 22 － 5 / 14	九州大学アグリコラボいとしま事務局（九州大学農学部等総務課） [TEL] 092-802-4700 [E-mail] ito-office★agr.kyushu-u.ac.jp
[一般]	(全1回)	13 : 00 － 17 : 00						

■農学研究院附属演習林

講座名[対象]	受講料	開催日時	講座内容	開催形式・定員	会場（対面）	申込方法	申込期間	問い合わせ先
里山森林体験講座　一里山林の多面的機能と持続的利用－	2500円	7 / 28 ～ 7 / 29	小学校，中学校，高校の教員が自ら里山林での体験活動を通して森林の働きや環境問題について考え、その過程で自然との適切な接し方や自然理解の方法を習得する。また、これらの経験を基に、各校種や学校、地域などのあらゆる場面の環境教育活動で実践、反映されることをねらいとする。野外実習を中心としたプログラムで構成し、森林での自然観察や簡単な森林調査・作業などを体験しながら環境教育の指標となる各森林での樹木について専門知識を学ぶ。	対面：15名	九州大学農学部附属演習林　福岡演習林	その他 （各所属 学校ごと）	未定	福岡教育センター　教育指導部　強化教育班 [TEL] 092-947-1154
〔その他（小・中・高校教員）〕		7/28　10:00～16:00 7/29　9:30～16:00		オンライン：－				
椎葉の奥座敷 秋の津野岳(江代山)・センツキ谷紅葉散策	無料	10 / 24 ～ 10 / 25	地元椎葉村観光協会との共催事業として、九州大学宮崎演習林が九州山地の中央部に有する広大な森林（2, 9 1 5ヘクタール）の特徴を活かして、森林育成・保全、地球環境における森林の役割等に関する教育研究を永年にわたり実施してきた研究成果をもとに、一般および地域の方を対象に九州山地の森林や樹木、森林動物などの生態的特徴や森と水の係わりに関する知識を深めてもらおうと共に、雄大な自然を満喫していただく。	対面：15名	農学部附属演習林宮崎演習林庁舎、及び演習林内	メール	未定	椎葉村観光協会 [TEL] 0982-67-3139 [E-mail] info★shiibakanko.jp
〔一般〕		10/24　13:30～17:00 10/25　9:00～15:30		オンライン：－				

■医学部保健学科

講座名[対象]	受講料	開催日時	講座内容	開催形式・定員	会場（対面）	申込方法	申込期間	問い合わせ先
わたしたちの健康を可視化する～看護学・放射線技術科学・検査技術科学が拓く未来～	無料	9 / 13	人々の健康上の課題を保健学の幅広い観点から捉え、社会的問題を踏まえながら、今日の人々が抱える医療上あるいは健康上の問題と解決方法について講演を行う。	対面：100名	九州大学医学部保健学科棟　3階 5 番講義室	Web	7 / 13　－　9 / 3	九州大学医系学部等事務部総務課総務第一係 [TEL] 092-642-6249 [Email]ijssomu1★jimu.kyushu-u.ac.jp
〔一般・在学生・教職員・高校生〕		13　： 30　－　15　： 30		オンライン：300名				

■企画部社会共創課

講座名[対象]	受講料	開催日時	講座内容	開催形式・定員	会場（対面）	申込方法	申込期間	問い合わせ先
令和8年度九州大学公開講座　「“みる”と“つたえる”が未来を変える」	無料	8 / 8	近年、複雑化する社会課題の解決に向けて、大学や研究機関だけでなく、市民や地域社会とともに知を創出していく「社会共創」や「市民参加型の科学技術（シチズンサイエンス）」の重要性が高まっています。本学では、「総合知で社会変革を牽引する大学」を目指し、研究・教育・社会連携の各分野において、多様な主体と連携しながら新たな価値の創出に取り組んでいます。本公開講座では、本学の知を社会に開き、市民とともに進める科学技術の可能性について発信し、大学と社会が共に未来をつくるために今何が求められているのかを考えます。	対面：150名	九州大学伊都キャンパス椎木講堂講義室2	Web	6 / 24　－　8 / 5	九州大学社会連携推進室 [TEL] 092-802-6662 [Email]syarenkei★jimu.kyushu-u.ac.jp
〔一般・在学生・教職員・〕		13　： 25　－　17　： 00						